

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 SOALA南ヶ丘校			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日			~ 2025年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○従業者評価実施期間	2025年 12月 4日			~2025年12月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境・体制整備が整っているところです。	厚生労働省のガイドラインに沿った広さや設備基準を確保しております。 基準以上の配置基準であり、専門職（理学療法士・保育士・教員等）など様々な専門性を有した職員を配置しております。 お掃除ロボット・大型空気清浄機・抗菌施工を取り入れ、清潔で心地よい環境づくりを行っております。 静養室を完備し、休憩の場を提供しております。	南ヶ丘校以外の事業所があり、それぞれ違った強みがあるため事業所間交流もSOALAの強みとして今後活用してまいります。兄弟児の交流機会を増やすため、広報の強化を行います。保護者向けイベントを検討し、家族支援を強化します。
2	業務改善や支援の質向上のための工夫を行っています。	活動プログラムの偏りを防ぐため、複数名の指導員で立案しております。活動案に沿った支援を行い、支援の様子はInstagramで発信しております。業務改善として社内システムの導入を取り入れております。職員の支援を高めるため、社内及び社外の研修を月1回以上受けております。支援においては活動意欲を高めるために考案から作成の過程で積極的に子どもの意見を反映した活動案の作成を心掛けています。	活動プログラムの多様化として、地域活動や他施設との交流機会を増やします。職員のスキル向上のための研修機会を継続してまいります。
3	障がいのない子ども達との交流促進を意識しているところです。	ご家族、ご兄弟を含め、いつでも支援へ参加頂けるよう開けた事業所作りを意識しております。ご兄弟の来所を通じ、障がいのない子どもとの触れ合いの大変な機会に繋がっております。また、積極的な地域資源を活用し、地域との繋がりも大切にしております。	地域行事への参加や公共施設の利用を積極的に行い、様々な交流機会を得られるような機会を設けてまいります。また、学校での様子をしつかり情報収集し、コミュニティへの参加を応援できるように支援に取り入れていけるよう努めます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境面で、一部段差があり、完全なバリアフリーにはなっておりません。	事業所の構造上、完全なバリアフリーは困難ではあります。玄関、運動支援室への出入り口に段差があります。	転倒予防につながるプログラムの強化と継続を行います。また、段差に気づきやすいような美化活動も継続して行ってまいります。
2	保護者間の交流機会が少ないことです。	イベントや日々の支援において、いつでも保護者の参加を歓迎しておりますが、その広報や訴求が不十分かと考えております。	保護者参加型のイベントを拡充し、家族支援や兄弟児を含めた家族交流の機会を促進します。
3	事故や緊急時の対応についてや訓練の実施状況についての、周知不足があります。	契約時に各種対応についてはご説明しておりますが、定期的な情報の更新については広報が不十分かと考えております。また、訓練等の実施状況についてはInstagramや活動案に掲示することで開示努力を行っていますが、さらに発信方法の拡大が必要と考えております。	実施日に関しては毎月実施しており、日程は活動案でご案内しておりますので保護者様のご参加も是非お待ちしております。実施状況等の発信方法としてInstagramや活動案を採用していますがより周知して頂けるような工夫を行ってまいります。